

令和元年 7 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

7 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 5 業種、前年同等が 7 業種、悪化が 2 業種で、全体の景況感 DI 値も 6 月より好転している。

輸送機器では、作業量の多い状況が続いており、また、建設業では、工事量の回復がみられる一方、商店街では、思うように売上が伸びないとの報告があった。

山口県の中小企業は、多くの業種で人手不足が続いており、また、目前に迫った消費税増税に対する不安の声もある。

山口県の主要指標 DI 値（令和元年 7 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：27.5% DI 値：▲20.0% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加：23.8% 減少：33.8% DI 値：▲10.0% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：10.0% 悪化：31.3% DI 値：▲21.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和元年 7 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲16.7	▲11.1	0.0	▲24.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
20.0	▲11.1	▲100.0	▲18.2	▲20.0	0.0	0.0	▲17.1	▲20.0
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	悪天候が少なく7月中旬まで前年並みの売上げで推移したものの、猛暑の到来とともに来客数が減少し売上に影響している。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	7月は上旬、中旬と涼しかったので売上が増加した。	パン・菓子製造業 下関市
	売上は7/27時点累計で対前年同月比+7.1%のアップで推移。7/7開催の「萩瀬付きアジ祭り」も対前年比+21%（当館レジ売上比較）アップと盛況であった。7/13～15日開催の「萩シーマート：海の日フェア」も対前年同期間比+6.8%と集客に寄与した。今年度4月～7月は各月とも前年売上実績をクリアできており順調に推移している。	水産食料品製造業 萩市
	10月以降の消費低迷が懸念事項。システムなどの対応が大変面倒。運送費の値上げが高まり、非常に困っている。食品の値上げも続いているが、消費に結びつくかは不透明。	水産食料品製造業 下関市
	2019年7月は、下旬に相次いで台風が発生するなど地球温暖化の影響で、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、農産物の売り上げに関する保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。アメリカがパリ協定の離脱を表明するなど、二酸化炭素を排出しない社会づくりに厳しい状況が出ているので、電気自動車の普及対策や水素ステーションの充実などが必要となってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	7/30ベトナム実習生が2名帰国。合計55名。（ベトナム人28名、中国人=27名）	下着類製造業
	例年に無く、発注数量が業界全体的に少ない様子。メーカーも在庫を多数抱えている模様で、8月、9月の発注の見通しが不安である。	外衣・シャツ製造業 萩市
	備蓄時ではあるが比較的順調に発注がある。この調子なら12月中旬頃までは見通しが明るい。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	地場工務店の仕事が殆ど無く、木材の需要が低迷している。このままでは木造住宅が廃れてしまう。	製材業・木製品製造業 岩国市
	梅雨明けも長引き、住宅関係の着工による材料発注も依然低調な状況。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	用紙値上げに伴う製造メーカーの出庫制限により、用紙調達が困難な状況が続いているが、秋にも再度の値上がりがあると報じられており、業界として付加価値をつ	印刷 下関市

	けた製品による価格アップに取り組んでいく必要性が迫られている。	
	全国大会等、スポット受注で売り上げは伸びたが、毎年の定期もの等の受注がなく、来年同時期に不安が残る。	印刷 山口市
窯業・土石製品	7月の出荷量は、 (平成30年7月) 骨材126%、路盤材101%、 再生材 79% ↓ (令和元年7月) 骨材 87%、路盤材136%、 再生材110%	砕石製造業
	出荷量は、前月比107%、前年同月比97%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	10月からの消費税増税により、若干ではあるが忙しさが増してきた。それと同時に仕事の状況を見ながら、新税率での見積書の作成をしていかなければならない。	石工品製造業
	萩市内においては、観光客の減少と売上の減少がみられる。ホテル、飲食店など観光業界の各方面からも厳しい声が聞こえて来る。ギフト・卸関係・百貨店の受注は昨年同月と変わらず、浅草アンテナショップ「萩の風」の売上げも、昨年同様。当組合では、横浜市・旧伊藤博文金沢別邸での萩焼展示・即売イベントや、秋の姫路陶器まつりの出店を目指して準備を進めている。また、台湾での見本市出店や日本への観光ツアーの誘致、その他のインバウンドに対応したカードやスマホ決済の導入を進めている。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	春の繁忙期も過ぎ少し落ち着いて、7月は忙しい業者とそうでもない業者の差が大きい月であった。一昨年から続いていた大手の設備投資も少し落ち着いてきた模様。	下松市
	7月の景気は6月とほぼ同様の推移である。自動車関連、県内の大型構造物を製作する設備関係はいずれも変わらず順調である。ベトナム、マレーシアなど東南アジアの工事設備を受注の会社は、10月までは規制範囲内で残業をしてこなしている。外国人労働者の受入れの件は、組合員個別に関係国へ出向き、組合員の求める能力基準に適合しているか等をチェックしている状況。外交・関税など米・中・韓との関係による影響が気になるところ。	防府市

	<p>食肉加工、惣菜、自動車関係等技能実習生受入れの全ての職種で業績は好調。残業も多い。36協定等法律の遵守を指導。但し、米中貿易摩擦の影響か、一部業種で若干の業務量減少傾向がある。今後、日韓の貿易摩擦によりどの程度の影響があるか状況把握に努める必要がある。介護職についてはインドネシアにてN3,N4取得の研修中で、来年1月の受入れに向け準備をしているが、介護職については引き続き増員の計画があるが慎重な対応が必要。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調で、即戦力として活躍している。有効求人倍率の高止まりに伴い人手不足感が高まり、特定技能及び技能実習生は増員の傾向にある。特定技能については、登録支援機関の認可を得た。</p>	宇部市
	<p>おおむね前年と変化は無いが、受注量は減少傾向にある。</p>	宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両では輸出案件が生産の終盤を迎えてはいるが、輸出以外の案件も多くあり変わらずに作業量が多い状況が続いている。また、半導体も高い作業量水準が継続しており、産業プラント部門が少し減少気味ではあるが全体的に作業量には恵まれている状況。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>冷凍商品の動きが悪く、冷凍倉庫が満杯状態になっている。昨年より売上は増加。</p>	乾物卸売業
	<p>天候不順で、清涼飲料水等の夏物商品の売上に影響がでた。</p>	各種商品卸売業
	<p>売上は昨年よりあるが、これからの猛暑で更に魚の入荷数が減少すると危ぶんでいる。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>梅雨時期で、路面店の売上は非常に厳しく、インショップも前年同等の売上であれば良いとのこと。お客様に今後の活動にも繋がるように、エステ、ハンドマッサージ（無料）などの声掛けを行うことにより来店していただいている。この化粧品業界もお客様とのコミュニケーションが重要な業種である。</p>	化粧品小売業
	<p>6月後半より暑くなりエアコンの動きが良く、全体的に好転している。</p>	機械器具小売業
	<p>衣料品販売業を中心にバーゲンシーズンに突入。売上高は増加するが粗利は低下する時期。しかし今年は百貨店を含む全国の小売業が不振。一方、飲食・サービス業は宴会時期を過ぎて一段落の後、夏に入って会食などで巻き返している。先月に続き小売業では消費税増税、軽減税率、キャッシュレス決済、ポイント還元制度など、日々の業務は依然として混乱していて、解決の目処は立っていない。このまま見切り発車に秋の増税がスタートすれば、中小・零細・小規模事業者が取り残されるだろう。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>台風5号の接近と大雨の影響で夏祭りが中止となった。</p>	各種商品小売業 徳山市

	天候の影響か商店街の来客数は少ない。地元の買い物客数も減少している。7月下旬にポイント祭りを開催し、普段の2倍の商品券を発行するため、各加盟店もポイント2倍出しセールを行っている。販売促進に繋がるよう期待している。	各種商品小売業 下関市
	7月末まで、核店舗である衣料品店の閉店セールにより、売上及び客数は前年を上回っているが、他の店舗は厳しい状況。8月以降は、売上、客数ともに半減以上の落ち込むと思われる。	各種商品小売業 長門市
商店街	売上低下が商店街活動の低下に結びついている。10月の増税が心配である。	宇部市
	この時期はイベントに向けて各店工夫を凝らし販売に集中しているが、思ったように売上が伸びない模様。「夜市で店を開けても物が売れない。早く閉めた方が経費がかからない。」と少し早めに閉める店もある。商店街としては多くの店に開けていて欲しいところだが、難しい面もあり、頭を悩ませている。	萩市
サービス業	7月は梅雨が長引いたが、美容業界は天候には左右されなかったように思う。現在、低価格店のクオリティの低い美容サロンが増えているが、そのクオリティに満足できない客が依然通っていたサロンに戻っている傾向がみられる。	美容業
	雨の日が多く、思ったよりも客足が伸びなかった。	理容業
	平成28年4月、外国人技能実習生制度に自動車整備が追加され、山口県においても初級評価試験を3名が受験し3年が経過した。今後、この3名は専門級試験に合格すれば在留期間2年を延長することができるため、近々試験を実施することになる。また、新たに5名の初級評価試験を今月末に実施することになっており、日本人の整備要員確保が難しくなっている中で、山口県においても要員確保対策の一手段として外国人への期待が高まってきており、整備業界の救世主となることも予想される。	自動車整備業
	人手不足が継続中。フィットネスは競争激化。	スポーツ・健康教授業
	今年の衣替えにおけるクリーニングの繁忙期は後半型となり、7月になっても未だ忙しい業者とそうでない業者で格差が広がっている模様。クリーニングの市場規模が縮小していく中、いかにお客様に喜んで頂くか新サービスを模索し、また情報発信していくことが大切なようである。	普通洗濯業
	宿泊人員は対前年比99.2%、売上は108.3%で推移した。個人客の比率が高かったため客単価がアップし、売上に貢献した。	旅館業 山口市

	選挙及び前半の天候悪化等の影響により売上減少。入浴者数も減少傾向にある。	旅館業 長門市
	ビジネス客を主に、宿泊者数が増えている。	旅館業 下関市
	地域お祭りイベント等有り、若干お客様の組数が増えた気がする。	飲食業
建設業	中電への工事申請131件(当支部分102件)、前年同月168件(同147件)。太陽光発電への申請26件(前年26件)、オール電化申請78件(前年108件)。LED街路灯への切り替え・新規申請17件(前年21件)であった。	電気工事業
	春先から工事量が減少していたが、回復し始めた。平成27年の国勢調査では平成7年と比較し、6割の左官技能者が減少している。その理由は①この5年間で給与は2割程度上昇しているものの、仕事のきつさの割には給与が低いこと②技能者を雇用することにもなう事業者の負担が重いことが考えられる。	左官業
	順調に発注がなされており昨年よりも仕事量があるが、人手不足の上に猛暑もあって仕事が捗らないでいる。	管工事業
	梅雨の真ただ中で雨天の日が多く、現場の工事が進んでいない。やっと梅雨が明けたと思ったら今度は猛暑が襲来し、年間を通じて最も作業環境が悪い時期である。とにかく故障・けが等もなく過ごすことが出来ればOKの状況。	屋根工事業
	忙しくしているところと落ち着いているところがあり、工場稼働率に差が出ている様子。	鉄骨・鉄筋工事業
	作業員がとにかく不足しているが、企業も雇用する気が無いように思う。ちょっと大きな工事に対して自信が無い模様で消極的である。地域に貢献出来るような企業が少ない。大きな会社は地域で仕事をせず、他地域で仕事をしている。零細は零細で作業員が極端に少ない。日頃からの工事量の不足が大である。	土木工事業 柳井市
	7月の受注高は、対前年同月比110.2%。今年度の累計では、対前年比99.0%。	土木工事業 萩市
運輸業	低調ではあるが前月よりやや輸送取扱量が増加したものの、38%の減少。それに伴い軽油の使用量も減少し、全体売上は前年同月比で40%弱のマイナスとなった。燃料費は5.3円の値下げ。価格の変動が目まぐるしく、中小の輸送業者は一喜一憂の月であった。	一般貨物自動車運送業 下松市
	売上高は、前年同月比で18%程度増加し順調に推移している。自然増加もあるが、前年は広島の高雨災害の影響もあり今月の増加に繋がっている。燃料費は落ち着きを見せており、前年同月比、若干の下げである。	一般貨物自動車運送業 防府市

	<p>物流において、相変わらず荷物保管の案件が多く、自社物件倉庫ではスペースが足りなくなっているのが外部倉庫の賃借をして対応している状況である。社員不足は慢性的に続いており、人員の確保も難しいところである。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲7.2%（令和1年6月1日～令和1年7月20日分）でした。6月1日～30日分は▲10.6%、7月1日～20日分は▲1.3%。7月になって減少率が少なくなってきたが、5月、6月は大幅に減少した。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域だが、6月分については、周南▲9.6%，下松▲19.9%，光▲11.3%，防府市地区が▲10.9%で、組合員の全域では▲11.3%、地区外（員外）+1.9%、合計▲10.6%（▲2,560千円）。6月分のチケット利用は、前年にバトミントンのイベントがあった反動もあるが、得意先別の増減については、業種や地域による傾向はあまり無いように思うが、全体として大幅な減少になった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。CPが大幅に下がり（前月472.5\$/トンが今月385.0\$/トン、前年565.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下がり（前月410.0\$/トンが今月385.0\$/トン、前年448.0\$/トン）。為替は円高（前月110.86円/\$が109.12円/\$）です。燃料単価は前月比▲8.7%、前年6月分比も▲16.0%と下がった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。労働条件の改善もあり、消費税増税に合わせて運賃改定が行なわれることになったが、景気状況によっては、料金を増額したために利用が減り、かえって売上げが減少する事も危惧されている。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>今月は、取扱高に大きな変化は無く推移した。</p>	港湾運送業
その他 非製造業	<p>当組合も技能実習生に加え、特定技能にも参入する。職種の追加も含め、職員も幅広い知識が必要になってくると思う。</p>	介護事業